

第3学年学級活動（1）指導案

日 時：令和〇年〇月〇日（〇）〇校時
学 級：第3学年〇組〇名
場 所：3年〇組教室
授業者：〇〇 〇〇

1 議題

全員が進路決定への不安を乗り越えるためにできることを考えよう。

内容（1）ア学級や学校における生活上の諸問題の解決

2 議題について

（1）生徒の実態

本学級は、落ち着きのある生徒が多く、おだやかな雰囲気で行々の生活を送っている。1学期当初より、1問1答形式の質問に対して多くの生徒が挙手するなど、学習にも意欲的に取り組もうとする生徒が多かった。しかし、発展的な内容や自分の考えに自信がもてないような課題について話し合う場面では、自分の意見を堂々と発表することが苦手な生徒もいた。そのため活発な話し合い活動を経て考えを深めるところまでには至っていない状態であった。1学期から学級会を含め、話し合い活動に取り組む中で、誰とでも気軽に交流しながら諸活動に取り組むことが出来つつある。また、グループ活動や話し合い活動では、じっくりと相手の話を聞き、自分の考えを伝えられる生徒が多くなり、温かい雰囲気での話し合いが出来つつある。

学級活動では、4月、5月に「学級目標と学級の方針を決めよう」、7月に「話し合い活動をより活発にする方法を考えよう」、10月に「合唱コンクールの取組方法を考えよう」を議題として、話し合い活動を行ってきた。これまでに行ってきた学級活動では、生徒たちは事前に考えておいた意見を自分の言葉で発表できた。また、回数を重ねるごとに挙手をして発表できる生徒も増えてきている。7月の学級会の議題に上がったように、自分たちの話し合い活動の取組みを改善していかなければならないという自覚があり、積極的に参加したいと考えている生徒が増えている。

司会をしている生徒は、4月当初は話し合いの見通しをもつことが難しく、進行が滞ってしまう場面が多く見られた。回数を重ねる中で、見通しをもつための事前準備に何をすればよいか少しずつ考えることができるようになってきている。しかし、予想とは違う意見が出た場合には、まだ合意形成に向けての話し合いが滞ってしまう場面が見られる。

（2）議題選定の理由

生徒によって、進路選択も様々なものである。学校で、それぞれが感じている不安を共有し、学級全員でだからこそ取り組めることがあると感じさせ、進路決定に向けての学級生活を充実させたいと考えている。また、あまり授業に入れていない生徒でも、自分事としてとらえ、一緒に話し合い活動に臨めるようにしたい。進路決定に向けての思いを共有し、学級全員で希望進路の実現を目指してがんばれる雰囲気をつくりたい。

（3）生徒が「読み解く力」を、高め、発揮している姿とそのための手立て

【「読み解く力」の二つの側面】	【「読み解く力」の三つのプロセス】
A…主に文章や図、グラフから読み解き理解する力	①…発見・蓄積：必要な情報を確かに取り出す
B…主に他者とのやりとりから読み解き理解する力	②…分析・整理：情報を比較し、関連付けて整理する
	③…再構築：自分なりに解決し、知識を再構築する

- ・主体的に考えて議論ができるように、生徒自身にとって切実な議題を設定できるように意見を募る。
- ・自分の考えをもち、他者の意見と比べ、根拠をもって説明できるよう、事前に考える機会を設ける。
- ・他者の意見と自分の意見を比べて発言する手法を例示する。
- ・合意形成をする際に、少数意見も尊重されるように指導する。
- ・話し合いの中で、意見をもつ、意見を深める、自信をもつために、座席の近くの生徒と話し合う時間を確保する。
- ・班長、司会、記録の生徒を対象に事前に話し合いのシミュレーションを行い、事後に実際の学級会との違いについて考える。
- ・学級会終了後、合意形成してみんなで取り組んだことについて振り返り、再検討する時間を確保する。

3 指導のねらい

- 学級をより良くするための取組をみんなで話し合って合意形成し、実践することで学級への所属感や連帯感を深め、仲間力の向上を図る。
- 全員で決めたことに対して積極的に取り組もうとする態度を育む。

4 評価規準

よりよい生活や人間関係を築くための知識・技能	集団の一員としての話し合い活動や実践活動を通じた思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
全員が進路決定への不安を乗り越えるために話し合って解決することや他者と協働して取り組むことの大切さを理解している。 合意形成の手順や活動の方法を身に付けている。	学級や学校の生活をよりよくするための課題を見いだしている。 課題解決に向け、話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協働して実践している。	学級や学校における人間関係を形成し、見直しをもったり振り返ったりしながら、他者と協働して日常生活の向上を図ろうとしている。

5 指導と評価の計画

※実線は、「読み解く力」のAの側面、波線は、Bの側面に関わる留意点や評価規準

期日	主な学習活動	指導上の留意点・ICTの活用	評価規準・評価方法
10月28日 (木) 朝の会 ～ 10月29日 (金) 朝の会	「学級をよりよくするために改善したいことを考えよう」 学級振り返りプリントを用いて、自分の学級のよいところと課題を振り返り、学級で話し合ってよくしたいところ・変えたいところを考える。	学級をよりよくするためには、学級生徒全員の協力が必要であること、取り組む内容を決定するために全員が協力して話し合うことが必要であると伝え、自分の学級での生活を振り返って話し合いたい内容を記入するように指示する。 意見を集約するためにICTを使用する。	【主体的態度】 ・ <u>学級について振り返り、学級が抱えている課題を解決することに関心をもつ。</u> ＜振り返りカード＞
10月29日 (金) 放課後	「学級会の議題を考えよう」 学級振り返りプリントをもとにして、代議員と班長とともに今回の学級会で話し合うべき議題を決定する。また、この議題を話し合うべきとする理由を考え、学級全体に配付する学級会カードを作成する。	学級の生徒の思いを共有し、その中でも特にできるだけ早く解決すべきこと、学級全体が関わっていることを議題とすべきであるということを確認し、議題としてふさわしいものを選ぶことができるようにする。「なぜその議題にすべきか」ということを考えることが、その後の話し合いには重要であるということを伝え、積極的に考えることができるようにする。	【主体的態度】 ・ <u>学級生活の充実と向上に関わる問題に関心を持ち、主体的に考えることができる。</u> ＜観察＞

<p>11月1日 (月)</p>	<p>「進路決定への不安を個人で考えよう」</p> <p>議題を知り、議題について、どのようにすれば解決に近づけるか考えるために、自分たちの抱える不安を把握する。</p>	<p>全員が進路決定への不安を乗り越えるためにできることを考えることは、全員にとってメリットがあることを確認し、意欲的に考えさせるようにする。</p>	
<p>11月5日 (金)</p>	<p>「進路決定への不安を共有し、全員が進路決定への不安を乗り越えるためにできることを学級会カードに記入しよう」</p> <p>学級会カードを用いて、議題に対して、自分はどのような意見をもつのかを考える。</p>	<p>自分のこととして考え、できるだけ抽象的にならずに、具体的な方法を考えるようにする。また、理由も記入するように指導する。</p>	<p>【主体的態度】</p> <p>・学級の具体的な問題を自分事として考え、自分の意見をもつことができる。 <u>＜学級会カード＞</u></p>
<p>11月8日 (月) 放課後</p>	<p>「学級会をイメージしよう」司会と記録の担当者と班長でクラス全員の考えた内容を確認し、学級会の流れのシミュレーションを行う。</p> <p>事前に学級全員の学級会カードから話し合い活動で出てきそうな意見、ポイントになりそうな意見をワークシートに書き、話し合いの流れを予想する。</p>	<p>学級活動をどのように進めればよいか助言する。また、生徒の思いを聞きながら活動の見通しがもてるようにする。</p> <p>学級会カードから、話し合いがどのように進むのか代表者が互いに考えたシミュレーションを交流し、より具体的にイメージできるようにする。</p>	<p>【主体的態度】</p> <p>・学級活動の充実に向けて、リーダーとして自己の役割に責任感をもっている。 <u>＜観察＞</u></p> <p>【知識・技能】</p> <p>・学級会カードから、学級としての意見をまとめる話し合い活動の進め方を身に付けている。 <u>＜観察＞</u> <u>＜ワークシート＞</u></p>
<p>11月9日 (火) 本時</p>	<p>「進路決定への不安を共有し、全員が進路決定への不安を乗り越えるためにできることを考えよう」</p> <p>議題について意見を出し合い、出た意見を比べ合い、学級の意見をまとめる。</p>	<p>根拠をもって発表するように助言する。できる限り積極的に挙手をして発表するように助言する。発表が少なければ、代議員が指名するように事前に助言しておく。</p> <p>「出し合う⇒比べる⇒まとめる」の流れを大切に、話し合いを進めるよう助言する。多数決だけに頼らず話し合っ得た結果を、代議員を中心にまとめていく。</p> <p>決めたことは全員で意識して今後の学校生活に生かしていくことを確認する。</p>	<p>【思考・判断・表現】</p> <p>・根拠を明確にして自分の意見を述べたり、友達の意見を公平に判断しながら聞いたりして、よりよい学級になるよう話し合おうとしている。 <u>＜観察＞</u></p> <p>【知識・技能】</p> <p>・学級を振り返り、よりよい姿を目指すことの意義、学級としての意見をまとめる話し合い活動の進め方を身に付けている。 <u>＜観察＞</u></p>

<p>11月10日 (水) ～</p>	<p>話し合い活動における決定事項に基づいて活動する。 班長、司会、記録の担当者は、事前に考えたシミュレーションと実際の話し合い活動との違いを振り返る。</p>	<p>話し合い活動での決定事項を実践しているかどうか見届け、必要に応じて助言する。 よりよい実践について、具体例を示して認める。 次回以降の話し合い活動のときに、よりよい見通しがもてるようにする。</p>	<p>【思考・判断・表現】 ・学級の一員として自己の役割に責任をもち、互いに信頼し合って実践している。<観察> <ライフノートの記述></p> <p>【知識・技能】 ・学級会を振り返り、意見をまとめる話し合い活動の進め方を身に付けている。 <ワークシート></p>
<p>12月</p>	<p>実践を振り返り、互いのよさを評価するなどしながら、今後の学校生活の在り方について考える。</p>	<p>よりよい実践について、具体例を示して認める。</p>	<p>【主体的態度】 ・よりよい学級づくりに関心をもち、自主的・自律的に集団活動に取り組もうとしている。<観察></p>

6 本時の目標（本時：1／1時間目）

- ・互いの意見を生かして話し合い活動を進めることができる。
- ・クラスの課題や改善策を自分のこととして考えることができる。
- ・異なる意見から学級としての意見をまとめる合意形成に向け取り組むことができる。

7 本時の展開 ※実線は、「読み解く力」のAの側面、波線は、Bの側面に関わる留意点や評価規準

主な学習活動等	指導上の留意点(・) ICTの活用(☆) 評価規準(□)
<p>0. コの字型の座席配置を示し、並び替える。</p> <p>1. 代議員より説明 議題、提案理由、決まっていること、本日の流れなどを確認する。</p> <p>2. 担任教員からの話 本日の話し合い活動で大切にしたいことを伝える。</p> <p>3. 話し合い活動①出し合う 学級の課題を改善するためにどんな取り組みが出来そうか、学級会カードで事前に考えてきたことなどを出し合う。</p>	<p>・根拠をもって発表するように助言する。一人ひとりの意見が進路決定への不安を乗り越えるために必要なものであり、全員の意見を大切にしながら考えていけるように助言する。</p> <p>・「出し合う⇒比べる⇒まとめる」の流れを大切にしながら話し合いを進めるよう助言する。</p> <p>・多数決だけに頼らず話し合っ得た結果を、代議員を中心にまとめていく。決めたことは全員で意識して今後の学校生活に生かしていくことを確認する。</p> <p>話し合い活動①出し合う □学級振り返りカードを記入し、学級での話し合っよくしたいところ、みんなで取り組むことを見いだしている。 □議題に対する自分の考えをもっている。 □他者の意見を聞きながら聞いている。 □他者の意見に対して質問ができる。 □他者の意見に賛成・反対をし、理由が説明できる。</p>

<p>4. 話し合い活動②比べ合う 出た意見から「この意見がいい」「この意見とこの意見はこういう点で似ている」「この意見とこの意見をまとめると」「実際にできるのか」という形で比べた意見を発表していく。意見が出ない場合は話し合いの時間（TM タイム）をとり、再度発表を促す。具体的な方法、期間などについても考える。</p> <p>5. 話し合い活動③まとめる 出た意見から司会を中心にまとめていく。できるだけ多数決の形にならず、状況に応じてまとめ方を工夫しながらまとめていくようにする。</p> <p>6. 担任教員からの話 今回の「めあて」に対してのこと等、話し合い全体の講評をし、今後決めたことを全員で取り組むことを確認する。</p>	<p>話し合い活動②比べ合う <input type="checkbox"/> 周りの人の意見を聞いて自分の考えを整理する。 <u>様々な意見を比べ、意見をくっつけたり、質問したり、意見に対して賛成・反対を述べたりしている。</u> <input type="checkbox"/> 周りの人の意見と自分の意見の違いに気づいたり、 <u>質問したりして、他者の考えを受け入れることができる。</u></p> <p>話し合い活動③まとめる <input type="checkbox"/> 様々な意見から、折り合いをつけようとしている。 <input type="checkbox"/> 様々な意見から、合意形成に向けて意見をまとめていこうとしている。 <input type="checkbox"/> 合意形成して、具体的な行動目標を決めようとしている。</p> <p>・活動の中でポイントとなった発言や、伝え方を評価し、次回以降の話し合いに生かせるようにする。</p>
---	--

実践校の話し合い活動で大切にしているもの

全ての生徒が学級会に参加しているという意識がもてるように、発言の機会として出し合うの時間を大切にしている。話し合い活動②以降が高度な内容の話し合いになったときに、意見を言える生徒に偏りがあることを考慮し、時間内に出し合う活動を設定している。また、学級会に参加できた、意見を言えた、拍手をもらえたという経験から、授業に入りにくい生徒の自己肯定感の育成にもつなげたい。

各発表に対して拍手するという流れを体得しているため、他教科の授業でも意見発表に対して自然と拍手が起こり、意見を言いやすい雰囲気が出来上がりつつある。発言の内容によって拍手が大きくなる場面も出てきている。それらが3年間の積み重ねとなるように設定をしている。